

学校支援ボランティアとコーディネーターの意義

この資料は、青森県の地域コーディネーター養成講座の研修資料として作成し、平成19年度全国生涯学習センター等研究交流会で発表したものです。

発表者 青森県教育庁生涯学習課 総括主幹・社会教育主事 田中 洋一

「学校と地域を結ぶ学校支援ボランティアの育成と支援 ～学校と地域の協働による教育活動推進事業～」

第2章 学校支援ボランティアとコーディネーターの意義

ボランティアとは何か、学校支援ボランティアの特徴と意義、コーディネーターに求められること、その意義を確認する。

I ボランティアとは何か

ボランティア活動の4つの基本理念

主体性、非営利性、公益性、先駆性

自らの自由意志で、主体的に行動する人を「ボランティア」という。

「ボランティア活動とは、自らの自由意志によって、社会に参加し、社会を変革し、社会を創造することができる、すべての人々にあたえられた基本的権利である。」

イギリス アレック・ディクソン 1914-1994

引用：興梠寛-希望への力-光生館

II 学校支援ボランティアと学校の関係

学校支援ボランティアの特徴

その活動による利益を求めないボランティア活動は、活動者への金銭によらない見返りが存在する。学校支援ボランティアでは、「子どもたちの笑顔と成長」を受けとることができる。活動の対象者が明確であり、常に存在すること。大人として、子孫（次世代）の成長を望む本能が有効に機能する。

すべてのボランティア活動は、「受け入れ」があってはじめて成立する。災害ボランティア、福祉ボランティアもしかり。また、地域社会には、ボランティア活動を求めている人が存在する。

学校支援ボランティアの場合、受け入れるのは機関としての学校となり、活動を求めている人は、学校教職員となる。活動の対象者である子どもと、活動を求めている人がむすびつきづらい。学校支援ボランティア活動は、機関である学校が受け入れることによってのみ成立し、「開かれた学校」でなくては、学校支援ボランティア活動は振興できない。

学校のもつ特徴

特に小学校においては、子どもの学習から生活面までを学級担任が指導する体制にあり、分担制は少く、教育活動には専門性も求められている。

そのため、子どもへの教育活動に対し、もっとも重要な役割を担っているとの自覚から、教員の中にはすべて担任が掌握すべきと考えたり、部外者の入り込みを歓迎しない面も見受けられる。

一方では、環境教育、金銭教育等、あらゆる分野の素養を小学生のころから学ぶべきという社会的風潮も強まり、本来、家庭がもつべきしつけも含めて、学校への期待は多種多様にわたっている。これらの期待に学校教員だけで応えることは厳しい現状にあり、学校教員に対しては、柔軟に地域の支援を受け入れる姿勢が求められる。

Ⅲ 学校での奉仕活動とボランティア活動

学校における地域との連携協力

小学校においては、特に学校行事や環境整備において保護者の協力が欠かせない。保護者による協力活動には、学校の求めによるものとPTA行事に組み込んで行われるものがある。学校の求めによる活動は奉仕活動に分類され、ボランティア活動のきっかけとはなるが、主体性と恒常性が弱い場合が多く、活動が深まっていけない事例も見受けられる。

学校支援ボランティア活動は、多種多様ではあるが、活動者の喜び、自己実現につながるものとして、自己の考えによる主体的な活動を振興する必要がある。

活動者がやりたいと思った活動が、学校や子どもたちの利益につながることで、恒常的な活動につながる。

Ⅳ 学校支援ボランティアコーディネーター

学校支援ボランティアコーディネーターの必要性

学校の教育活動において、「より専門性の高い講師を必要とする」、「子どもの安全の確保のため多くの大人を必要とする」、「図書の整理等の学校にとってなかなか手が回らない活動」、「予算面から実現できない環境整備」など、地域の大人の力が求められることは数多い。

教員がこれらを解決するには、地域人材の協力と活躍を求めなくてはならないが、保護者に呼びかけて人材確保できる場合と、保護者以外の人材を探さなくてはならない場合がある。自校区に求める人材がない場合は、多くの学校においては手立てがなくなってしまう。

一時的に求める人材の情報を入手できた場合でも、学校は転勤により教員が代わっていくことと、学年により取り組みの重点が異なることから、地域人材の情報を蓄積しづらい面もある。

また、地域住民が学校を支援したい、なにか自分でできることはないかと、考えてもその思いを学校がすぐに受け入れて活動が実現するとはかぎらない。

これらのことから、学校支援ボランティアコーディネーターの必要性は極めて高い。

本県（青森県）には、各校に「学校と地域を結ぶ窓口となる教職員」が配置されて

いるが、むしろ地域の人をよく知る「地域の側」にコーディネートをする人材が求められる。